

(参考様式3)

会 議 録

会議の名称	平成29年度第1回地域保健計画推進部会				
開催日時	平成29年5月29日(月)午後7時00分～8時45分				
開催場所	いきいきプラザ2階学習室				
出席者 及び欠席者	●出席者:(委員)大木幸子部会長、嶋原健二副部会長、 川崎由香里委員、橋本健一委員、杉本美恵子委員、 森田徳子委員、武者吉和委員、水戸部瑞江委員、 藤原幸博委員、種市幸實委員、曾我部多美委員、 池本昇委員、高橋照定委員、橋本政紘委員、 栗原恵子委員、小島恵子委員  (市事務局) 【健康福祉部】河村次長 【健康増進課】花田課長、江川課長補佐、小澤課長補佐 鈴木管理係長、原田主任保健師、荻野主任保健師 【地域福祉推進課】新井課長、大塚計画担当主査 【保険年金課】菅野医療費適正化担当主査 【子ども家庭部】瀬川次長 【子育て支援課】嶋田課長、齋藤母子保健係長、 八丁母子保健担当主査、大熊主任保健師、 橋本主任保健師、横山主任保健師、矢板主任保健師 大塚主任保健師 【コンサル】(株)アイアールエス ●欠席者:浅谷哲也委員、和田恵子委員				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由		傍聴者数	なし
会議次第	1 開会 2 委嘱状の交付 3 市長挨拶 4 委員・事務局紹介 5 部会長及び副部会長の選出 6 議題 (1) 第5次地域福祉計画・計画策定スケジュールについて (2) 市民意向調査の結果について (3) 平成29年度新規事業について (4) その他 7 閉会				
問い合わせ先	健康福祉部健康増進課成人保健係 担当者名 小澤 電話番号 042-393-5111(内線3219) ファックス番号 042-394-7399				

## 会 議 経 過

### 1. 開会

### 2. 委嘱状の交付

### 3. 市長挨拶

### 4. 委員・事務局紹介

### 5. 部会長及び副部会長の選任

互選により、部会長に大木委員、副部会長に嶋原委員が選任された

### 6. 議題

#### (1) 第5次地域福祉計画・計画策定スケジュールについて

#### ●事務局

地域福祉推進課より、資料4「保健福祉協議会と各関係部会との相関図」、資料5「計画年度一覧表」、資料6「次期地域福祉計画策定スケジュールについて」の説明がされた。健康増進課より、資料5を基に、「地域保健計画、母子保健計画」について説明がされた

#### ●部会長

今期の大きな変更点としては、これまで地域保健計画と母子保健計画が別立てとなっていたが、来年度から一緒に策定をすることになる。地域保健計画は主に成人期のかたの健康づくりのことを検討するという内容であったが、妊娠期から始まって乳幼児期、就学期のお子さんのことも合わせて考えていきたい。もう一つ、資料6にあるように、12月の策定委員会で個別計画の確認があるので、ここに間に合うようにこの部会の中で議論を進めていきたい。何かご質問、ご意見はあるか。

#### ●部会長

特に無いようなので、次に進む。

#### ●事務局

先ほど策定スケジュールの説明にあった、「地域福祉計画策定委員会」の委員を本部会から3名ないし2名の選出を考えている。策定委員会では地域の保健全般にかかる意見について、本部会を代表していただきたいと考えていることから、これまでの慣例に従い、本部会の代表である大木部会長、母子保健計画関連から委員選出されている曾我部委員、ほかに立候補してくださるかたがいらっしゃれば、ご推薦をいただきたい。

#### ●部会長

皆さんからご異議がなければ、策定委員会委員については事務局案のとおり、私（大木）と曾我部委員のほか、あと1人どなたかを推薦できればと思うが、委員をお引き受けいただけるかたがいらっしゃれば、挙手を願う。

●部会長

ほかにいらっしゃらないようなので、今回は、大木と曾我部委員さんを当部会より推薦ということでご異議ないか。

●委員

(拍手で承認)

●部会長

次に、(2) 市民意向調査の結果について、事務局より説明をいただく。健康増進課、子育て支援課と続けて説明した後、質疑を受ける。

●事務局

健康増進課より「市民意向調査の結果について」資料7を基に説明  
子育て支援課より「市民意向調査の結果について」資料8を基に説明

●部会長

調査は膨大であるので、事務局より3点ずつピックアップして説明いただいたが、今の内容でも、その他のことでもいいので、ご意見、ご質問あるか。

●委員

問9の医療機関に関する情報が不足しているというか、物足りないという割合が多いが、実際にどういった情報が欲しいというところまで掘り下げて聞いているか。

●事務局

そこまで掘り下げた設問ではないので、わからないが、たびたび市役所に問い合わせがあるのは、診療科目別に医療機関がどこにあるかというもので、保健師が症状を聞いて、近くの病院をいくつか紹介することがある。そこまでは健康ガイド裏面のマップには入れられない。

●委員

このマップを見ると、かなり詳細な場所、電話、概要が網羅されているように思うが、この病気に対してはどこの病院にかかればいいのかという問い合わせはあるのか。

●事務局

電話で健康増進課に問い合わせが入る。このようなマップや冊子にするには限界があるので、保健師が個別に対応しているのが現状である。

●部会長

市民にしてみれば、「どこに行けばいいのだろう。いいところを教えてほしい。」ということだろうが、市役所としては、「いいところ」がどこかは答えにくい。

●部会長

保健所で医療安全センターを開設されている。そこにも問い合わせが入っているのではと思うがいかがか。

●委員

具体的にはわからないが、保健所にはどこの病院にかかればいいのかという問い合わせよりは、苦情が多い。

●委員

他の会議での調査結果を伺うと、具体的にこういう症状があって、どこの病院はそれに強い。例えば内科ですと消化器が強いとか、循環器が強いとか。そういうところが知りたいという意向が多いようだ。

●委員

各医療機関、診療所やクリニックの先生の評判や、得意診療科目の情報が欲しいのだと思う。地域にいと先生の評判は口コミで入ってくる。そこまでの情報を欲しいといわれても行政としても困ると思う。

●委員

東京都が運営している「ひまわり」という医療機関案内には、非常に詳しい情報が載っている。開業医は、百何十項目を毎年都に申告しなくてはいけないので、毎年更新されている。最新情報の客観的な情報であれば「ひまわり」が有意義だと思う。また、自分でコメントを書く欄があり、得意な分野を書いている先生もいる。

調査報告書についてだが、P21問6の⑩「自分の歯は何本ですか」の回答、歯科医師会としては平成元年から「8020（はちまるにいまる）運動」をやっている。80歳で20本歯があれば、まあまあ何でも食べられるので80歳まで20本もたせましょうということ。1「24本以上」、2「20～23本」と回答したかたは、何歳かわからないが、90%近くが20（にいまる）はクリアしている。

P22問6の⑪「1日1回、10分程度の歯みがきを何日やっているか」だが、1回10分はかなり長い。せいぜい1～2分。ほぼ毎日10分以上6割近くいる。「ほとんどみがいていない」もあるので今後アプローチが必要という感想をもった。

P30「かかりつけ医の有無」というのがある。その中で、「かかりつけ歯科医をもっていますか」で「いる」が6割で、P31の比較グラフで見ると、かかりつけ医、かかりつけ薬局より多い。そういうものなのかと改めて認識した。

P128、障害があるかたへの「健康や医療について困ったり不便なこと」というアンケート結果だが、「歯科診療を受けられない」の回答で、身体障害者で2.7%、知的障害者で3.2%、精神障害で6.5%、難病で3.4%が困っている。寝たきり等で歯医者に行けないかたに、こちらから出向いて行く「歯科医療連携推進事業」を歯科医師会と市で行なっている。困っているかたの割合を0に近づけるよう推進できればと感じている。

気になるところでは、P205「危険ドラッグ」等の使用についてで、「使うかどうかは個人の自由である」という回答が7人いるのが衝撃的である。東京都の薬物乱用防止指導員として、絶対に使ったらダメという普及啓発をもっと頑張っていきたい。また、学校関係者にも頑張してほしい。

●部会長

中学生のアンケート結果の中で、いくつか気になる結果が出ていたが、学校関係者として何かご意見はあるか。

●委員

無作為に抽出された中学生の回答なので、全体の傾向かどうかはわからないが、自分以外の人にあまり興味が無いというところで、悪いとわかっているにもかかわらず、アンケートではこういう回答を選んだのではないかと解釈している。学校では6年生全員に、「薬物は絶対使ってはいけない」と薬物乱用防止教育をしているので、こういう結果が出たことは意外だった。

●部会長

事務局からの説明で、未成年は性感染症や、妊娠出産のイメージがわからないのではないかとあった。核家族化が進んでいて、人が生まれたり死んだりすることが日常生活から切り離されている。子どもたちがリアリティを持つにはかなり仕掛けが必要だと改めて感じた。

●部会長

現計画の評価指標の一つにもなる。調査結果の気になる部分を次の計画にどうやって盛り込んでいくか、専門家の立場や、市民のかたから意見をいただいきたい。

●事務局

資料7「市民調査の結果について」の間6～8で目標を達成できていない項目が多いことについて補足説明する。現計画では、指標の22年度実績値に対して目標を「増やす」「減らす」としている。この目標指数は、複数の項目で、保健所で行なった圏域の市民調査の結果を用いている。具体的には、机上に配布している第4次計画書のP231にある計画指標の白抜き星の項目が保健所のデータを用いた目標値である。今回、保健所の調査が継続されなかったため、次期計画の指標については、東村山市の基礎調査に目標指数に該当する項目を盛り込み調査を行なった。そのため、保健所のデータを用いた目標指数については、前回との比較ができないが、今回の調査結果と22年度実績値を比較して、目標が達成できていない項目が多かったため、意識が低い状況にあるとしている。

●事務局

計画指標については、今回配布した報告書などを基に、これから今年の計画策定の中で改めて資料を出しながらしっかり説明していく。

●部会長

次回、計画の評価と課題整理のところでもわかりやすい資料を出していただけるということである。他に意見はあるか。

●委員

調査報告書P207、「エイズについて知っていること」では、知っているが52.1%で、半分しか知らないという結果に驚いた。東村山市という地域だからこうなのか。23区内の中でも地域差があると思う。高校生になると興味のあることも広がると思う。興味はあるが、正しい性知識を知らない。学校の中ではなかなか性教育の時間が取れないと聞いているが、将来、望まない妊娠や出産を防いだり、若年でお子さんを持つことでの生活していく大変さもあると思っている。無作為抽出の結果なので、これが全体の結果とは限らないが、現在の中学校の性教育の状況を伺いたい。

●委員

義務教育の中では保健体育の時間で必ず扱うことになっている。それを自分事として定着していくかどうかというところの問題なのかとも思われる。小学校でも発達段階に応じた性教育の年間計画にて、取り組んでいるが、校長会で確認してみたい。

●部会長

学校保健と地域保健が連携をしていく意味でも大事なテーマかと思う。

次に、(3)平成29年度新規事業について、健康増進課、子育て支援課と続けて説明いただきたい。

●事務局

健康増進課より、がん検診に関する実態把握調査等を行なう「がん検診受診率向上及び精度管理向上事業」について説明

子育て支援課より、「ゆりかご・ひがしむらやまミニガイド」の作成について説明

●部会長

ご質問等あるか。

●部会長

ミニガイドの説明で、個別の妊娠出産プランを作成するとのことだが、どういうものか。

●事務局

母子手帳交付時に母子保健コーディネーター（保健師、助産師）が面接をさせていただく。安定期はいつごろでどういった準備をした方がいいですよとか。近所に頼る人がいない場合は、こういったサポート事業がありますとか。いろいろな提案をして、安心して妊娠期を過ごしていけるように、全員に面接を目指したい。その時にプランを作成し「妊娠・出産・子育てガイド」の中に落とし込みさせていただく。

●部会長

ゆりかご東京で、母子手帳交付時に全数面接を取り組もうとなっているが、母親ごとの、プラン表作成というのは素敵な取組だと思う。目に見えるも指標があると安心材料の一つとなる。

●委員

子どもへの虐待について耳にするが、どうしても赤ちゃんに愛情を持たない人の受け入れを考えないといけないと思う。赤ちゃんが殺されるのもかわいそうだし、母親を犯罪者にするのも気の毒である。

●部会長

東京都の子育て支援の計画の中で「社会的養育」というものがある。実際のご家族でなくて、養護施設や里親制度、養子縁組の制度を、望まない妊娠などで子どもを育てられないというときに、妊娠期からどう情報を届けるかは課題である。東京都の児

童福祉審議会で、各関係機関がそのお母さんに、情報を届け適切な対処ができるようなサポートをしていくガイドラインができたところ。東京都が全都的に書いているもの。児童相談所や各地域にある社会的養護を担っている児童養護施設が中心に地域の関係間の人たちと実際に手を組んでやっていこうというのが始まったところ。

●委員

東村山は地域での取組が活発だと感じたことがあるが、それでも健康の意識が低いというのに驚いた。

●部会長

計画としては高齢分野になるのかもしれないが、最近、高齢者の虚弱「フレイル」という概念が広まっているので、世代を超えて健康づくりを切れ目なく支援していけるようなことが計画の中に盛り込んでいければと思う。

(4) その他

●事務局

諏訪町にある市立社会福祉センターの一部改修工事後の活用方法について、当部会委員さんのご協力をお願いしたい。

当部会に関連が深い事業として、現在、社会福祉センター2階では、地域の保健推進委員会による健康づくり活動が日々行われていることから、保健推進委員会からの代表である、藤原委員さんに検討会委員として部会よりご推薦いただきたい。

●部会長

市から、今後の社会福祉センターを活用するためのあり方等を検討する委員選出についてお願いがあった。ご意見ご質問はあるか。

●部会長

本部会からは藤原委員さんの選出ということでご異議ないか。

●委員

異議なし。

●事務局

今回は7月頃開催させていただきたい。内容は、現行個別計画の評価と課題整理を行なう予定。日程については、部会長と事務局で調整の上決定しお知らせする。

●部会長

委員から他に意見等あるか。

●委員

議題(1)の「地域福祉計画策定委員会」の委員の選出で、1名余裕があるのであれば、立候補したいがよろしいか。

●委員

(拍手で承認)

●部会長

では、当該策定委員会の委員は、本部会からは橋本委員を加え3名としたい。  
本日の会議は終了とする。

以上